



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

## 本を読もう！【～11/9：読書週間】



10月27日（日）～11月9日（土）は読書週間です。この3連休は本を読みましたか？今日は「ぐず太郎さん」のお話です。

ある会社に「ぐず」と呼ばれる人がいました。太郎という名前なので、「ぐず太郎」とか「ぐずた一ちゃん」と呼ばれていました。ところがこの「ぐず太郎」さんが、何かの拍子に本多光太郎博士の本を読んだのです。その本には、こんなことが書かれていました。

「鋼の世界的権威者、本多幸太郎博士は愛知県の農家の三男坊で、小さい時あまりパツとせず、鼻たらしの光ちゃんと言われていました。小学校の先生には、『お前はのろまだから、人が1回やるところを3回やりなさい』と言われました。大学生の兄さんに、カルタゴ興亡史という歴史の本を借りたとき、兄さんは2、3日で返しに来ると思っていたら、3週間後に持ってきたので、『どうだ、わかったか』と聞くと、『3回読んだらやっとなかった』と答えたそうです。



このようにわかりの遅い光太郎少年が、後世世界的な大学者になろうとは、だれも夢にも思いませんでした。光太郎少年は、さびない、のびない特殊鋼を発明して『鉄の神様』と言われたのです。

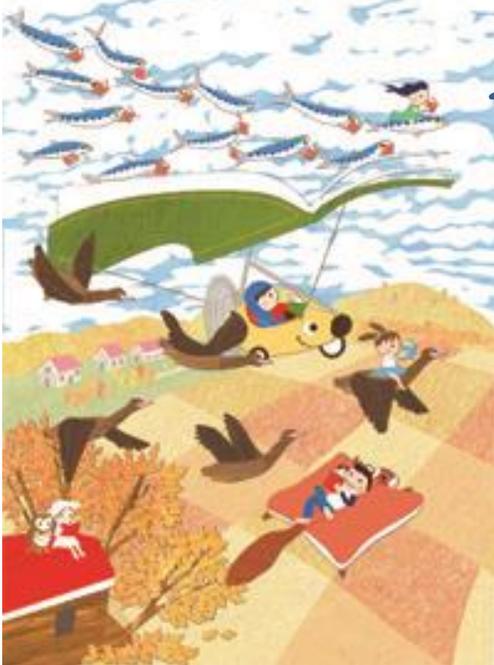
この本を読んだ「ぐず太郎」さんは、「よし、自分もこれからは何でも3回やろう」と決心しました。そして、夜の時間は本を読むことに決めました。初めは雑誌から読み出し、だんだんと難しい本も読むようになりました。光太郎少年のように3回ずつ読むのです。

それから1年たち、2年たちました。すると、「ぐず太郎」さんはだれよりもものをよく知っているようになり、わからないことがあるとだれもが「ぐず太郎」さんに聞くようになって、いつの間にかみんなから「もの知り太郎」さんと言われるようになりました。

この話を聞いて、どう思いますか？

学校では「読書活動の推進」に力を注いでいきたいと考えています。1学期末の児童アンケートでは「図書室の本をよく利用している」の達成率は88%【A】で昨年度よりも4ポイント増加しています。しかし、保護者アンケートでは「子どもは家でよく本を読んでいる」の達成率は63%【C】で一番低い結果でした。11月の目標は10冊以上です。お休みの日にお子様と一緒に読書をしてみませんか？

### 2013 読書週間ポスターイラスト大賞



「読書は空想の世界へ飛び立てる」そんなイメージで描きました。読書週間を機に、たくさんの夢や希望が旅立っていけますように。〈作者〉

### 2013 読書週間 標語 入選

「本と旅する 本を旅する」

- 旅とは非日常の体験。読書は日常の中で、非日常を体験。ここではないどこかの景色を眺めつつページをめくると、双方が微妙に入り交じり、なぜかいつもより登場人物や取り巻く世界観に強く思い入れてしまうことがあります。そんな感覚って素敵ですね。〈作者〉